

プランクトン各分類群の最新知見

# 多様性 解明 分類学 群集構造 のための



2018年9月9日  
於 創価大学

入場  
無料

講演者

西川 淳

刺胞動物 (東海大)

宮本 洋臣

毛顎類

(東北水研)

十脚類

(海洋大)

Jose Landeira

カイアシ類

(極地研)

佐野 雅美

リザリア類

(科博)

仲村 康秀

フト藻

十の他の

海産微細藻類

河地 正伸

(環境研)

珪藻

石井 健一郎

(京都大)

ラフィド藻 (琵琶湖博)

ディクテオカ藻

今井 一郎

渦鞭毛藻

(長崎大)

松岡 数充



# シンポジウム名

## 開催日時

## 会場

## 開催者

### プランクトン各分類群の最新知見 — 多様性・群集構造解明のための分類学 —

2018年9月9日（日）12:00-16:15

創価大学 中央教育棟3階 AW303

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1丁目236

日本プランクトン学会

仲村康秀（科博）、今井一郎（琵琶湖博）、西田周平（東京大）

## 背景と目的

近年の分子生物学的手法や観測機器の発達により、プランクトンの系統分類や生態に関する情報は大きく更新されている。しかし、そのような各分類群の最新情報は一部の専門家のみが把握しており、自身が研究対象としていない生物に関しては生態・多様性がどこまで解明されているのかが不明瞭な場合が多いと予想される。今回のシンポジウムでは、系統関係・生態に関する最新知見を紹介し情報交換・議論を行うことで、群集構造・多様性解明に必要な**生態・分類情報の共有を目指したい**。

## プログラム

### I. 開会の挨拶・趣旨紹介： 仲村 康秀（科博）

- (1) 渦鞭毛藻： 松岡 数充（長崎大）
- (2) ラフィド藻・ディクティオカ藻： 今井 一郎（琵琶湖博/北海道大）
- (3) 珪藻： 石井 健一郎（京都大/SeedBank）
- (4) ハプト藻 + その他の海産微細藻類：  
河地 正伸（国環研）
- (5) 有孔虫・放散虫・フェオダリア（リザリア類）：  
仲村 康秀（科博）、木元 克典（JAMSTEC）、鈴木 紀毅（東北大）

（全員で）写真撮影、休憩

- (6) カイアシ類： 佐野 雅美（極地研）
- (7) 十脚類（幼生）： Jose M. Landeira（海洋大）
- (8) ヤムシ類： 宮本 洋臣（東北水研）
- (9) 刺胞動物（鉢虫類）： 西川 淳（東海大）

### II. 総合討論： 司会 仲村 康秀（科博）

### III. 閉会の挨拶： 西田 周平（東京大）

詳細については、下記のリンクをご覧ください。

2018年 日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会 公式サイト：  
<https://plankton-benthos2018.github.io/website/program.html>

お問い合わせ 仲村康秀（国立科学博物館）

電話：029-853-8335 E-mail: [jasnakamura@kahaku.go.jp](mailto:jasnakamura@kahaku.go.jp)